

的場 慎一 JOURNAL VOL.12

堺を新たなステージへ！



ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。日々寒さが増してまいりますが皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。体調崩さぬようお気をつけ頂きたいと思っております。昨年の秋に行われました堺市長選挙におきましては皆様に多大なるご支援頂きながら結果を出せずに誠に申し訳ありません。皆様に御付託頂く議員として立ち止まることなく堺市民の生活、福祉の向上、街の発展に向けて今後とも邁進してまいります。本年も宜しくお願い致します。今回のジャーナルでは昨年末に開催されました堺市議会のご報告を申し上げます。小さい紙面ですが限られた予算で議会毎の発刊を目指しております。ご容赦の程宜しくお願い致します。

まとば慎一事務所 〒590-0103 堺市南区深阪南 342-12
TEL：072-230-1887 ・ ホームページ www.ishin-matoba.com

大阪維新の会 堺市議会議員団としての動き

12月の市議会にて
2つの提案 →

議員報酬20%削減
議員年金復活反対

今回の議会においては市長報酬50%削減が可決しました。今後、税収環境が厳しくなる時代背景の中、議会議員についても報酬の削減を行なっていくべきと市議会議員報酬の20%削減条例を再度議会へ提案致しました。結果は他会派の反対多数にて否決となりました。市長の報酬は削減しても良いが自分たち議員はNO！また、一部**公金を投入される議員年金の復活に反対する意見書**も堺市議会として否決となりました。現在、議員年金は廃止されています。特権的な議員年金の復活へ議論がされていますが、反対の立場を貫いてまいります。

議員年金復活に反対の意見書が否決される



ポッドキャスト（ネットラジオ）始めました！

←iphoneをお持ちの方はこのアプリで「的場慎一」と検索

的場慎一
podcast



それ以外の方はホームページにてお聴き頂けます。お時間よろしければよろしくお願いたします。



<http://www.ishin-matoba.com/podcast/> (西林府議もゲストに)

的場慎一 健康福祉委員会での質疑



<市長質問>

- がん検診の無償化について
- 近大病院の移転事業と地域医療

<一般質問>

- 保育施設の利用環境について
- 健康増進計画懇話会について

がん検診の無償化については市長選挙にて維新の会、竹山両陣営において掲げた政策であり、早期の実現に向けて質疑を行いました。来年度の予算に盛り込み早期に実施すべきと意見致しました。堺市はがん検診の受診率が低く、政令市において健康寿命は下位に位置しております。がん検診の受診率を上げる政策や啓蒙をしっかりと行い、健康寿命を延ばし医療費の負担軽減にも繋げていかななくてはなりません。

保育施設の利用環境については主に地域性に応じた施策をいかに行うかのテーマにて取り組みました。南区は子育て世代の減少により待機児童が報告されていません。逆に北区などでは子育て世代が増加しています。南区では保育所入所の決定時期を早める施策もできる環境にあるわけですが、一市一制度では他区の状況を考慮するとできなくなります。こういった問題点の解決方法として大阪市では都構想の議論が行われています。次世代はさらに地域性に応じた行政が必要になると意見しました。

近畿大学医学部・付属病院の移転と地域医療



近畿大学医学部及び付属病院の移転は南区にとって大きな事業となり、堺市政として市民に何をもたらそうと考えるのかを質疑しました。答弁としてこの事業を活かし、泉ヶ丘地区で健康・医療分野に関する産業の集積を図ることや、学生との交流における地域活性化、地域医療においては地域の診療所と情報共有ネットワーク構築を行い、医療機関がそれぞれの役割や機能を分担、連携して質の高い医療体制構築を目指し、最終的に在宅医療への基礎を作っていく事を確認しました。また、移転地域である地元にとっては賛否も含め様々なご意見があります。大きな街の変化となり当然であると思います。地元地域において今後、歩道のバリアフリー化、健康遊具の設置、周辺道路や公園の整備を進めることを質疑の答弁にて確認しました。また健康寿命を延ばすソフト事業も重層的に行うこと、そのソフトとハード整備についてはしっかりとコーディネートしていくことなどを意見し、答弁にて確認いたしました。そして何よりも地元に対して丁寧な説明と対応をしていくこと、市長として積極的なリーダーシップを発揮していくことを求め、意見致しました。